

令和7年度 生徒自ら行う学習環境整美事業実績報告書

○実績内容

事業名	第2グラウンド環境整備
実施主体名	野球部
実施人数（生徒）	30名
〃（保護者）	0名
〃（職員等）	2名
実施日	令和7年8月9日（土）
事業内容	<ul style="list-style-type: none">・第2グラウンドへの土の搬入・ポジション（内野・外野）ごとにレーキ（トンボ）にて水平どり・側溝に向けての傾斜づくり・ローラー圧縮と最終仕上げ整備

○事業を実施した結果、教育的効果（生徒の取組み等）の状況

グラウンドには定期的に土を入れさせて頂いているものの、浅間山からの吹きおろしの風が非常に強い本校第2グラウンドでは、土や砂の飛散する量が非常に多く、悩ましい状況が続いている。そのような状況の中で、本事業で黒土を補充できたことにより、グラウンド状況は改善された。

練習や試合中における内野のイレギュラーバウンドが減少し、スライディングもケガの心配をせずに安心して行えるようになった。さらに本年度は砂の割合を多くした土を外野に補充させていただいたこともあり、グラウンド全体の練習環境が良くなり、練習効果が格段に上がっている。また、降雨後の水たまりが少なくなったことから、天候不良などでグラウンドを使用できなくなる頻度が減少し、施設の有効利用も促進された。

生徒自らが手作業で環境整備事業に関わることにより、現存する環境が当たり前ではなく、多くの支援があつてこそその活動だと、部員全体の共通理解を深めることができた。また、物を大切にすると心や身の回りの環境を整えることの重要性に気づくことのできる機会となり、練習後の整備活動の取り組みも一層意欲的に行えるようになった。

○今後、本事業に要望すること

本校第2グラウンドは、風の通り道となっており、土が舞ってしまいやすい場所である。また、グラウンドの形状上雨によって多くの土や砂がグラウンド外に流されてしまう。そのため、環境を維持するために土の補充を継続して行うことが必要である。次年度以降も是非事業を継続させて頂きたい。

